

麻疹(はしか)、風しんに ご注意ください!

- 今までかかったことのない方
- 30～50歳代の方
- 予防接種を受けていない方
- 妊娠を考えている方

麻疹、風しんはいずれもウイルスによって^{でんぱ}伝播し誰もがかかる恐れがあります。非常に感染力が強く、リスクもあるため免疫のない方は注意が必要です。



麻疹

【症状】

- 約10日間の潜伏期間後に発熱やせき、鼻水などの風邪のような症状が表れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が表れます。
- 合併症として肺炎や中耳炎になることがあり、まれに重い脳炎を発症することもあります。

風しん

【症状】

- 2～3週間の潜伏期間後、発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が表れ、成人の場合は高熱や発疹が長く続いたり、関節痛が見られます。
- 妊婦が感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。

※症状が出ないこともあります。

予防のためワクチン接種を受けましょう



今まで麻疹、風しんにかかったことのない方は予防のためワクチン接種〔主に麻疹風しん混合(MR)ワクチン〕が最も有効とされています。十分な免疫を付けるには2回接種が勧められており、現在は定期接種となっていますが、30～50歳代の特に男性の方は定期接種を受けていない、もしくは1回のみである可能性があります。

定期接種の対象者以外でも自治体から公費助成が受けられる場合がありますので、まずはお住まいの自治体のサイトなどで確認してみましょう。

妊娠中・妊娠を考えている方は要注意

妊娠中に麻疹にかかると流産や早産を起こす可能性があります。また、風しんの場合は出生児の目や耳、心臓に障がいが出る先天性風しん症候群を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。同居するご家族も含め、妊娠前に早めに抗体検査やワクチン接種を受けておきましょう。

なお、妊娠中の方はワクチン接種を受けることができません。妊娠されている方は、麻疹・風しん流行時には外出を避け、人混みに近づかないようにしてください。



「麻疹」について
詳しくはこちら➡



厚生労働省
「麻疹について」

「風しん」について
詳しくはこちら➡



厚生労働省
「風しんについて」